

モグラ捕獲機「モグセンサーMS-6」(ホクエツ)

土中にトンネルを掘り、根菜類などを食害するモグラ。ホクエツ(新潟)のモグラ捕獲機「モグセンサーMS-6」は、モグラがトンネルを通った時にセンサーに触れると前後からやりを落とし、くし刺し状態ではば確実に仕留めるといふ。トンネルの位置を確認できれば、設置も簡単だ。利用者の声を聞いた。

愛知県安城市の江川松光さん(64)は、イチジクの根をかじるネズミの被害に悩まされた。「半分は再定植を繰り返すネズミの被害に悩まされた。ネズミ対策は前から長年、頭を痛めていた。かいつてイチジクの産地づくりをリードし、いったんはやめた栽培を3年前、2017で再開した。しかし根を食害



江川松光さん(イチジク農家)

動してイチジクの根をかじるといふのが江川さんの見立てだ。モグセンサーを2年前に購入した。設置は簡単だ。園内を見渡し、地表面が「ミミズばれ」状に盛り上がった箇所を探す。土の崩れ跡が新しくなったり、盛り上がりや軽く足で押しつぶした翌日に修復されていたら、モグラが現在、移動に

**確実にくし刺し
地面へ置くだけ
値段が若干高め**

使うトンネルだ。その上から掘り捕獲できなかった。トンネルをまたぐように機器を軽く刺し込む。

江川さんは「トンネルを見つけたら、確実に、やりで仕留められる」と評価する。導入後はイチジクの被害も減った。近隣農家に貸すことも多く、「庭の芝を傷めるモグラがすぐ捕れた」と喜ばれている。

江川さんは今まで、さまざまなモグラ退治法を試みたが「納得できるものはなかった」といふ。爆竹や発炎筒、振動装置で「追い払う」方法は「モグラが慣れて効果が薄い」。またトンネル内に各種捕獲機を仕掛けたが、手前で別ルートをと



モグセンサーMS-6

モグラが棒状の電子センサーに触れると、やりが落ちて捕獲する。やりはセンサーの前方と後方に各3本ある。モグラが掘ったトンネルの地上部に設置し、トンネル内部は上部からセンサーが突き出ただけの状態となる。トンネルにはモグラが巣から餌場に向かう「本道」、餌場で本道から枝分かれした「支道」があり、確実に使う本道にセットする。ステンレス製

みでも、トンネル内で土をよけて異物を設置すると警戒されるようだ。モグセンサーでは、トンネル上部からセンサーが突き出しているだけなので、モグラが気づきにくいだろう」と考える。

やや深い地中にあるトンネルの場合、地上からは設置目安の土の盛り上がりを確認できないが、「その改良までは無理だろう」と江川さん。「価格は他機種より高め。機能的には妥当かもしれないが、もう少し安いと買いやすい」と要望する。

横標準単すエで高さ53センチ、縦13センチ、重さは3.9キログラム。準価格は3万5700円。3乾電池8本で稼働する。問い合わせはホクエツ、電話0256(63)9155。



「捕獲効果は抜群だ」とモグセンサーを評価する江川さん(愛知県安城市高棚町で)

材料費高騰も
価格据え置き

発売して15年たちますが、年間500台まで売り上げが伸びました。利用する農家やゴルフ場、造園業者などからは「簡単に設置で

返信

き、確実に捕獲できる」といふ評価も頂いています。材料費が上がる中で、価格を据え置いているのが現状です。今後も増産でコスト上昇を抑え、コストダウンもできよう努力していく考えです。

(ホクエツの話)